

OSSTech OpenLDAP 2.4

リリースノート



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

更新日: 2013年7月18日

リビジョン: 1.0

目次

1. はじめに	1
2. osstech-openldap 2.4.35-61 の修正内容	2
2.1 OpenLDAP 2.4.36 以降に統合されている修正.....	2
2.2 OSS テクノロジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正.....	2
3. コミュニティ版との差異	3
3.1 OpenLDAP 2.4.36 以降に統合されている修正.....	3
3.2 OSS テクノロジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正.....	3
3.3 OSS テクノロジ提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ.....	3
3.4 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ.....	4
4. パッケージ更新履歴	5

1. はじめに

本ドキュメントは、OSS テクノロジ提供の OpenLDAP パッケージの修正内容について記載しています。本ドキュメントの対象となる OpenLDAP パッケージは、**osstech-openldap-2.4.35-61** です。

このパッケージはコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.35 のソースコードをベースとしています。コミュニティ版のリリースノートについては次のページより確認してください。

<http://www.openldap.org/software/release/changes.html>

ご利用の OpenLDAP パッケージのバージョンの確認は次のコマンドで確認することができます。

```
$ rpm -qa | grep osstech-openldap  
osstech-openldap-2.4.35-61.el6.x86_64
```

2. **osstech-openldap 2.4.35-61 の修正内容**

OSS テクノロジ提供の OpenLDAP 2.4.35-61 では以下の修正を行いました。

2.1 OpenLDAP 2.4.36 以降に統合されている修正

- slapd が書き込み中に slapcat が不完全なデータを出力する問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6365>

2.2 OSS テクノロジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正

- slapd.conf を OSSTech 版の設定に変更

3. コミュニティ版との差異

OSS テクノロジ提供の OpenLDAP 2.4.35 はコミュニティ版 OpenLDAP 2.4.35 と以下の差異があります。

3.1 OpenLDAP 2.4.36 以降に統合されている修正

- slapd が書き込み中に slapcat が不完全なデータを出力する問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6365>

3.2 OSS テクノロジ提供 OpenLDAP に独自で適用している修正

- slapd.conf を OSSTech 版の設定に変更
- OpenLDAP 公開関数と変数を OSSTech 版固有の名称に変更
- AIX 6 の Workload Partition(WPAR) 利用時に一般ユーザーが /dev/urandom をオープンできないケースに対応

3.3 OSS テクノロジ提供パッケージのベースとした Fedora 用 RPM パッケージで適用されていたパッチ

- ldaprc ファイルを利用しないように修正
- setgid が実行されている場合にユーザー設定を読み込まないように修正
- slapd を位置独立実行形式(PIE)でビルドするように修正
- slaptools のシンボリックリンクを同一ディレクトリの slapd を指定して作成するように修正
- Perl、SQL のライブラリを直接リンクしないように修正
- リエントラントでない関数 gethostbyname()/gethostbyaddr() が繰り返し呼ばれた際にデッドロックが発生する問題を修正

3.4 Debian OpenLDAP パッケージで適用されていたパッチ

- slapindex が root ユーザーで実行された場合に警告を出すように修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=5356>
- アプリケーションが libldap や libnss-ldap を使う場合にホスト名解決でデッドロックが発生する問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=5363>

4. パッケージ更新履歴

- 2013 年 4 月 18 日 osstech-openldap-2.4.35-61
 - slapd が書き込み中に slapcat が不完全なデータを出力する問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6365>
 - slapd.conf を修正
- 2013 年 4 月 2 日 osstech-openldap-2.4.35-58
 - OpenLDAP 2.4.35 へのバージョンアップ
- 2013 年 3 月 15 日 osstech-openldap-2.4.31-56
 - ns-mail.schema に mailAlternateAddress 属性及び mailHost 属性を追加
- 2012 年 10 月 19 日 osstech-openldap-2.4.31-55
 - LDIF スクリプトを追加(ldifsortattr.pl)
- 2012 年 7 月 26 日 osstech-openldap-2.4.31-54
 - バックアップ用 cron 設定ファイルのパーミッションを変更
 - ホスト名のメモリ管理の問題を修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=7270>
 - gettimeofday()を再入可能にするための修正
 - <http://www.openldap.org/its/index.cgi?findid=6262>
- 2012 年 6 月 1 日 osstech-openldap-2.4.31-52
 - OpenLDAP 2.4.31 へのバージョンアップ
 - slapasswd で動的モジュールをロードするオプションを追加
 - Salted SHA-2 サポート
 - データベースのバックアップスクリプトを追加

- LDIF スクリプトを追加(ldifdiff.pl, ldifunwrap.pl, ldifsort.pl)
- Netscape Messaging Server 4.x のスキーマ定義ファイルを追加(ns-mail.schema)
- サービススクリプトがデータベースディレクトリを自動作成するように変更
- 既定で ldapi を有効化
- AIX パッケージの SASL を有効化
- dynacl オーバーレイを有効化
- contrib の一部のオーバーレイのビルドを修正
- pw-netscape 及び pw-sha2 オーバーレイを有効化
- 2011 年 12 月 5 日 osstech-openldap-2.4.25-42
 - International Components for Unicode(ICU)をビルド時にリンクしないように修正